

事務事業名	伊那谷の自然と文化データベース事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	美術博物館	H29係等名	学芸係	H28担当課等名 美術博物館				
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
	施策	29	ふるさと意識の醸成					
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民(一般市民・教育関係者・行政担当者) 2 伊那谷の自然と文化に関する資料・情報および学術図書・雑誌		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 伊那谷の自然と文化に関する資料・情報をデータベース化する。2 学術図書・雑誌を登録して学習室へ配架する。3 データベースと図書・文献を利用者に提供する。			圏域住民数(人)	160827		
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)			本館が所蔵する登録資料の総数(点)	150000		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	ホームページで公開したデータベースの数(件)		3	3	3	3	
	成果指標	学術図書の登録数(点)		46000	46000	49000	54410	雑誌のカウント方法変更(タイトル数→冊数)
	定性目標							
事業概要	<p>1 伊那谷の自然と文化(美術・人文・自然)に関する資料・情報をデータベース化する</p> <p>2 市民・研究者が利用できるようにデータベースを公開するとともに、クラウドを利用した新たな公開方法を研究する</p> <p>3 学術専門図書・雑誌を公開する</p> <p>4 伊那谷の自然と文化に関する問い合わせ(レファレンス)への対応を行う</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 資料、情報、文献に関するデータベースの作成、更新及びデータ登録			1 作成、入力したデータベース数		1 12点		
	2 市民、研究者が利用するためのデータベースの整備及び公開			2 年間新登録図書数		2 1,555冊		
	3 図書室の公開(土、日、祝日に開室)			3 図書室の年間開室日数		3 112日		
	4 書誌情報を飯田市立中央図書館のwebサイト中にある「南信州図書館ネットワーク」上に公開							
5 問い合わせ(レファレンス)への対応(主に電話と来館)								
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		1,435	1,540	1,372	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		1,435	1,540	1,372				
人件費計(千円)②		0	0	0	0			
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		1,435	1,540	1,372	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	データベースの作成、更新、登録はほぼ計画どおり実施できた。また、レファレンスには随時対応してきた。なお、28年度に策定した「2028ビジョン・基本プラン」において、中期(2021～2024)期間において、情報提供等の高度化を目指すこととした。							
改革改善の考え方	①問題点	資料の各データベースは専門的で、また個人情報を含むこともあるので慎重に検討しなければならない。また独自サーバでのWeb公開はシステムが複雑で専門知識が必要なため管理が困難である						
	②改革提案	資料のデータベース公開に当たっては、全国の博物館の動向を見ながら、安全で管理しやすく、かつ伊那谷研究団体連絡協議会等から意見を聞きながら、利用しやすいデータベースシステムを検討したい						